



全佐久だより

令和5年2月 日
全佐久PTA連合会発行
No. 3 (通算第76号)

令和4年度 新旧会長研修会

令和4年11月19日(土) 令和4年度全佐久PTA連合会新旧会長研修会がオンラインで開催されました。上田情報ビジネス専門学校の比田井和孝先生を講師に招き、『すべては子どもたちのために』と題し、ご講演をいただきました。先生からは、子育てへの向き合い方や生き方のヒントなどをお話いただき、笑いあり、感動あり、あっという間の90分間でした。お話の中で、「会長という重要な役目を引き受けた皆さんには、『どうせやるなら、やられるより、やってやる!』くらいの気持ちで楽しんでやってほしい。たとえ、失敗しても堂々と“負けっぶり”を見せてほしい。その姿を子どもたちが見て、挑戦する子に育つ。」と力強いメッセージをいただき、とても勇気づけられました。



参加いただいた新旧会長の皆さんにとって、本研修が今後のPTA活動やご自身の子育ての道しるべとなれば嬉しく思います。 **【全佐久PTA連合会副会長 山辺 修一】**

参加された皆さんの感想(抜粋)

- ◆ とても感銘を受けました。日々の中で『できない』とか『無理』などと決めつける言動で無意識に子どもたちの可能性を潰してしまっているかもしれません。未来ある子どもたちに、できること、やりたいことに挑ませたり、探求心を育んだりしたいなと思いました。
- ◆ 「心を変えると、行動も結果も変わる。」という言葉がとても心に響きました。
- ◆ 笑いあり、感動あり、あっという間の90分でした。子どもたちにも聞いて欲しいと思いました。
- ◆ PTA会長という名に不安でいっぱいでしたが、何が子どもたちのためになるのかヒントを頂いた気持ちです。
- ◆ 「本当の仕事とはマニュアルを越えた先にある」「やり方ではなく、あり方、どんな心構え、思い、何のために」「幸せを感じている人は、周りの人を喜ばせることに喜びを感じる人」等、心に響くたくさんの言葉を聞き、たいへん有意義な講演でした。この先の仕事への姿勢や、家庭・子どもへの接し方にとっても良い刺激を受けました。
- ◆ ラジオでの話を楽しみに聞いていたので、比田井先生の講演を聞くことができ嬉しかったです。役を负担に思うのではなく、前向きに務めることができそうです。子どもに「お父さん、会長楽しそうにやっている」と思ってもらえるよう、充実した1年にしていきたいと思います。

当日の講演会の内容を動画で視聴できます!!



* 動画公開期間 *

R5年2月18日(土) ~ 2月28日(火) まで

ぜひこの機会に、比田井先生の講演内容をご視聴いただけたらと思います。

~こちら動画視聴ができます~

【第70回 日本PTA全国研究大会
山梨大会 オンデマンド配信について】

公開期間: R5.2.28 まで

ID: pta2022

パスワード: pta2022



～我が家の子育て～

全佐久 PTA 連合会副会長 菊池 拓也

我が家には高校生の長女と長男、小学5年の次女の3人の子どもがいます。取り立ててこれといった教育方針のない我が家。長女はまじめの塊、それがゆえに融通が効かない。長男はお調子者。それがプラスになり、時にはマイナスにもなります。次女は一步引いて物事を進める慎重派。安心できる反面、もっと積極的にいってもいいのではと感じることも。三者三様の性格ですが、長所・短所すべてをまとめてその子の持ち味と考えています。金子みずぶさんの詩『私と小鳥と鈴と』の最後の一節に「みんなちがって、みんないい。」とあります。お互いの持ち味を認め合えばそれぞれ自信が生まれ、また持ち味を活かせば新たな発見、アイデアが生まれてくると思います。3人の子どもには持ち味を活かしてお天道様の下を堂々と歩いていけるような人生を送ってほしいです。

皆さんのお子さんの持ち味は何ですか？



～学校紹介 佐久市立浅科中学校～

全佐久 PTA 連合会副会長・浅科中学校 校長 佐藤 元昭

有名なブランド米、五郎兵衛米を生産する広大な田園に囲まれた風景の中にたえず浅科中学校は、心優しく穏やかな生徒たちが通ってきています。PTA の活動に保護者は積極的に参加し、なごやかに活動しています。新型コロナウイルスの影響のため計画した活動が思うように進められない状態が続いていましたが、今年度の秋には3年ぶりのPTA作業を実施することができました。作業内容は、校舎の窓拭き、除草作業、廃棄物の処理、駐車場の白線引きなどいくつもありましたが、各分担に分かれて積極的に取り組みました。参加したのは、2学年の生徒と保護者でしたが、保護者同士や、自分の子供以外の生徒ともたくさんコミュニケーションを取る姿が見られたことも大きな成果でした。

今年度は、学校運営の柱として「学びや生活を豊かにするための対話力の向上」を据え、全校生徒、先生方、PTA が共有し、取り組んでいます。PTA では、最近問題になっている ICT 機器やゲーム機などの利用に関して、ルール作りなどの対応策を話し合っています。PTA の評議員会では、小グループに分かれて話し合い、出された意見や感想を全体で発表し、さらに全体で協議するといった話し合いで、保護者同士や先生方の距離感が縮まっているように思います。コロナ禍で疎遠になりがちだった PTA 活動でしたが、アフターコロナを視野に入れて、より活発に取り組んでいきたいと思っています。



第 54 回 日本 PTA 関東ブロック研究大会 山梨大会に参加して

全佐久 PTA 連合会 副会長 前島友和

令和 4 年、10 月 15 日～16 日に第 54 回日本 PTA 関東ブロック研究大会山梨大会が開催されました。

関東ブロックでは、2000 人の方々が集まる規模の大会は、4 年ぶりの開催でした。1 日目の分科会は、山梨県内 7 つの会場に分かれ、私どもは第 7 分科会情報モラル、テーマ「ネット社会を賢く生きるための情報モラル～持たせる責任・持つ自覚～」に参加しました。

単位 PTA の研究発表では、ICT に長けた父母を上手く発掘して、グループウェアなどを活用し、時間と場所などの制約を見事に解消することで積極的に PTA 活動へ取り組んでいるなど意欲に溢れた発表でした。その中でも、役員決めなどの「ぐ引き」が無くなったという波及効果に大変関心を持ちました。

竹内和雄先生の公演では、実際に現役の中学生と小学生の意見をステージ上で聞きながら、ネット問題に対する答への糸口を導き出していくという大変面白いものでした。様々な統計も示しつつ、中学生までのうちにネット依存にならないように親子で話し合っておく必要があることを知りました。ネット問題は新たな文化づくりであり、大人が子供の意見をよく聞いて一緒に考えていかなければいけない事を改めて考えさせられました。

～編集後記～

ついに、感染症分類の 2 類から 5 類へと変わることが決まったコロナ。各所ではコロナ前の日常が戻っているように感じます。マスクを外す議論がされる中、マスクを外せない「マスク依存」の声も聞かれます。やはりコミュニケーションには、相手の顔を見て感じ、察することが必要だと思います。ただでさえ SNS の普及が進み、文字のみでコミュニケーションをとることが増えた子どもたち。マスクを外した表情を見て感じ、察する力を育てるためにも「マスク依存」から脱却して、たくさんの素敵な笑顔のコミュニケーションをとる姿が見られたらいいな...と思いました。

3 年前は卒業式を行うことすら難しく、苦しく悲しい思いがあったと思います。今年は、保護者、在校生もそろっての卒業式ができること、そんな節目に立ち会えることは当たり前前のことではないと感じています。私事ですが、自分の卒業した小学校が閉校となる記念の卒業式に、息子が最後の卒業生として参加します。とても感慨深いですし、最後の校歌、しっかり聞きたいと思います。

(全佐久 PTA 連合会副会長 井出藍)